

令和7年度後期学校評価結果におけるグランドデザイン評価項目について

令和8年2月
富士市立岩松小学校
校長 鯨津 諭

新しい年を迎え、子どもたちは1年のまとめの時期に入ってきました。保護者の皆様には、日頃より岩松小学校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、12月に児童や保護者に行った「学校評価アンケート」の中で、グランドデザインの下段に記してあります各評価項目についての結果を系統的に分析し、振り返りをしました。

1. 各評価項目について

① 「学校が楽しい 年間数値目標 90%」

【児童…91.3% (前期 90.5%) 保護者…95.7% (前期 92.7%)】

前期同様、多くの子どもたちが学校生活を楽しくしている様子が伺えます。学級や学年の枠を越えての学年での活動や児童会活動があり、より楽しさを実感できたと感じています。その一方で、まだ不安や悩みを抱えている子どももおり、保護者の方やSC・SSWと連携しながら対応しています。今後も、どの子どもにとっても楽しい学校となるよう指導・支援に努めていきます。

② 「重点目標 (あたたかい心 いい動き) を目指して頑張っている 年間数値目標 93%」

【児童…92.0% (前期 92.8%)、保護者…94.1% (前期 92.6%)】

後期も、子どもたちは重点目標を意識して学校生活を送っている姿がよく見られます。11月に開催した『岩小スポーツフェスタ (児童会行事)』では、各学級・学年・学年団で「あたたかい心」「いい動き」を表現することができていました。その反面、仲間を思いやれない行動により辛い思いをしている子どもがいることも事実です。今後も、重点目標を意識して学校生活を送れるよう指導・支援してまいります。

③ 「学習したことを理解している 年間数値目標 92%」

【児童…90.6% (前期 93.1%) 保護者…87.3% (前期 89.3%)】

前期に引き続き、学習に対して意欲的に学んでいると思われまます。自分で考えたりまとめたりしたことを友達に伝えたり、ICT機器を活用して学習を進めたりまとめたりすることも上達してきました。学習したこと、理解したことの定着には個人差があります。授業内容の練習や復習、家庭学習などを個に応じて工夫して行っていきたく思います。

④ 「進んで挨拶、正しい言葉遣いができる 年間数値目標 90%」

【児童…87.4% (前期 87.6%) 保護者…78.9% (前期 77.5%)】

前期よりも数値が上がってきたのは、児童会の取組をはじめ、様々な場面で挨拶や言葉遣いについて子どもたちが意識できてきているからだと思えます。ご家庭や地域でも挨拶や言葉遣いについて声掛けをしてくださっていることも大きいです。進んで挨拶ができにくかったり、良くない言葉遣いが出てしまい友達を傷付けてしまったりしている子どももいますので、今後も指導・支援を続けていきます。ご家庭でもご協力をお願いします。

⑤ 「ICT機器を授業で活用している 年間数値目標 92%」

【児童…89.5% (前期 90.1%) 保護者…93.1% (前期 94.1%)】

後期でも、授業の中で、タブレット端末やプロジェクター等を活用して学習する機会を意図的に設けています。「ロイロノート」や「ドリルパーク」を活用して、自分の考えや思いをまとめたり、友達に伝えたりする学習や復習等のドリル学習を行ったりしています。ICTの活用と併せて、書く力の育成を進めています。情報モラル教育も行っていますので、ご家庭でもご協力をお願いします。

⑥ 「本に親しんでいる 年間数値目標 80%」

【児童…67.9% (前期 74.3%) 保護者…59.3% (昨年度 60.9%)】

年間を通して、週3回の10分間の朝の読書時間を設定し、全校で一斉に読書に親しんでいます。11月の読書旬間では、イベントを行うなど、本に親しむ機会を設けています。また、調べ学習等で、学校図書館にて本を活用しています。ICT機器の活用が増えてきており、本を読む機会は減ってきていますが、今後も図書館司書やボランティアの方々とは協力しながら、本に親しむ機会を意図的につくっていきます。

☆アンケートの集計結果は、岩松小学校ホームページに掲載してあります。